

兵庫県加古川市：東播臨海広域市町圏によるエネルギーの地域循環プロジェクト

事業計画の特徴

- 加古川市が中心となって**東播臨海広域市町（高砂市、稲美町、播磨町）**における電力の脱炭素化を推進する。各自治体が公共施設へ太陽光発電設備の導入を行い、余剰電力については、**令和8年頃設立予定の地域エネルギー会社**を活用し、他の公共施設で使用することで、地域の脱炭素化とエネルギーの地域循環を実現する。また、地域エネルギー会社の**利益の一部については、地域に還元**していく。
- 但陽信用金庫と連携**し、事業者向けの再エネ及び省エネ設備の導入に係る融資について、**所定の優遇措置**を実施する。
- 太陽光発電設備の導入に対し、市費による**上乗せ協調補助**（個人：70千円/kW、上限210千円、事業者：10千円/kW、上限400千円）を実施することで導入促進を図る。

※2030年度までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）

再エネ：5,500kW

取組（個人）	規模	
	規模	その他市町
太陽光発電設備の導入	・500件 ・1,500kW	
取組（事業者）	規模	
	加古川市	その他市町
太陽光発電設備の導入	・100件 ・4,000kW	
高効率照明機器の導入	・10件	
高効率空調設備の導入	・50件	

事業計画の概要（公共）

再エネ：914kW

取組	規模	
	加古川市	その他市町
水道施設等への太陽光発電設備の導入（PPA等）	・4カ所 ・304kW	・3カ所 ・60kW
文化施設へのソーラーカーポートの導入（PPA）	・1カ所 ・550kW	

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
6,414kW	63,849 t-CO2	12.4億円	5.77億円	令和7年度 ～ 令和11年度

取組のイメージ

本事業を活用したエネルギーの地域循環のフロー図

